

令和6年度 第2回理事会

日 時：令和6年5月10日（金） 15：30～

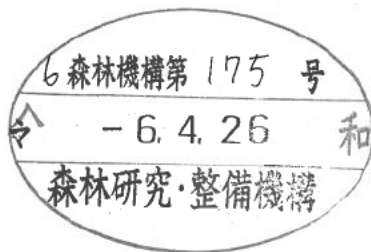
場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室

I．報 告

- 1．令和6年度監事監査計画書について〔監査室〕
- 2．令和5年度コンプライアンス合同報告会について（開催報告）〔コンプライアンス推進室〕
- 3．令和6年度研究ディレクター・研究コーディネーターの業務分担〔企画部長〕
- 4．林木育種センターにおける一般職員（大卒程度）の採用について（非公表）
〔林木育種センター〕
- 5．令和5年度原種苗木等の配布実績等について〔林木育種センター〕
- 6．令和5年度森林保険センターの業務実績について〔森林保険センター〕

II．その他

- 1．今後の主な会議・行事予定について
- 2．主要行事
- 3．森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について



I - 1
理事会資料
令和6年5月10日
監査室

令和 6 年 4 月 26 日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
理事長 浅野 透 殿

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

監事 鈴木直子

監事 高橋正通

令和6年度監事監査計画書について

監事監査規程第7条に基づき、令和6年度監事監査計画書を別紙のとおり作成したので通知する。



令和6年度 監事監査計画書

1. 監査方針	中長期目標に基づき実施される業務及びこれらの実施に係る内部統制等の実施状況等について監査を実施する																				
2. 監査項目	1 関係諸法令及びこれに基づいて定められた諸規程等の実施状況 2 中長期計画その他重要施策の実施状況 3 森林研究・整備機構法第3条に規定する目的に対する業務の運営状況 4 組織及び人員管理の状況 5 予算、事業計画及び資金計画の執行状況 6 現金等の出納及び保管の状況 7 資産の取得、管理及び処分の状況 8 財務諸表、決算報告書及び事業報告書に関する事項 9 契約の締結及び執行の状況 10 内部統制システムの整備及びその運用状況 11 独立行政法人改革等に関する基本的な方針(平成25年12月24日閣議決定)等過去の閣議決定で定められた監査事項 12 その他監査の目的を達成するために必要な事項																				
3. 監査区分	業務監査及び会計監査																				
4. 監査方法	書面監査及び実地監査																				
5. 監査対象箇所 及び実施時期	1 森林総合研究所等 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">監査対象箇所</th><th style="text-align: center;">実施時期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研究所(業務監査)</td><td>令和6年9月～令和7年3月</td></tr> <tr> <td>研究所(会計監査)</td><td>令和7年6月</td></tr> <tr> <td>林木育種センター バイオセンター</td><td>令和6年9月～令和7年3月 〃</td></tr> <tr> <td>北海道支所</td><td>令和6年9月～令和6年12月</td></tr> <tr> <td>北海道育種場</td><td>令和6年9月～令和6年12月</td></tr> </tbody> </table> 2 森林整備センター <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">監査対象箇所</th><th style="text-align: center;">実施時期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備センター(業務監査)</td><td>令和7年1月～3月</td></tr> <tr> <td>整備センター(会計監査)</td><td>令和7年5月～6月</td></tr> <tr> <td>3整備局及び その管内整備事務所</td><td>令和6年6月～令和7年2月 〃</td></tr> </tbody> </table>	監査対象箇所	実施時期	研究所(業務監査)	令和6年9月～令和7年3月	研究所(会計監査)	令和7年6月	林木育種センター バイオセンター	令和6年9月～令和7年3月 〃	北海道支所	令和6年9月～令和6年12月	北海道育種場	令和6年9月～令和6年12月	監査対象箇所	実施時期	整備センター(業務監査)	令和7年1月～3月	整備センター(会計監査)	令和7年5月～6月	3整備局及び その管内整備事務所	令和6年6月～令和7年2月 〃
監査対象箇所	実施時期																				
研究所(業務監査)	令和6年9月～令和7年3月																				
研究所(会計監査)	令和7年6月																				
林木育種センター バイオセンター	令和6年9月～令和7年3月 〃																				
北海道支所	令和6年9月～令和6年12月																				
北海道育種場	令和6年9月～令和6年12月																				
監査対象箇所	実施時期																				
整備センター(業務監査)	令和7年1月～3月																				
整備センター(会計監査)	令和7年5月～6月																				
3整備局及び その管内整備事務所	令和6年6月～令和7年2月 〃																				

	3 森林保険センター	
	監査対象箇所	実施時期
	保険センター（業務監査）	令和7年1月～3月
	保険センター（会計監査）	令和7年6月
	損害填補地等	令和6年9月～11月
6. その他必要な事項		

令和5年度コンプライアンス合同報告会について（開催報告）

1. 開催日時 令和6年3月18日（月）
2. 開催場所 森林総合研究所特別会議室 （Web 会議併用）
3. 出席者 浅野理事長（統括推進責任者）、鶴田理事（法令遵守担当）、鈴木監事、高橋監事
 森林総合研究所等コンプライアンス推進委員会 森谷理事、平野室長、宮本一般専門員
 森林整備センターコンプライアンス推進委員会 関口理事、伊東室長、村竹参事
 森林保険センターコンプライアンス推進委員会 森谷理事、吉永所長、荻野室長、遠山係長
4. 議 事 各コンプライアンス推進委員会から、令和5年度の取組結果報告と令和6年度の取組方針を説明した。

	令和5年度取組結果	令和6年度取組方針
森林総合 研究所等	1. コンプライアンス意識の浸透 ・ハラスメント研修の実施 ・理事からのメッセージ発信 ・コンプライアンス標語の募集 ・ポスターの掲示 2. コンプライアンス違反と思われる事項の相談、通報、事例の周知 ・職員からの相談対応 ・公益通報への対応（コンプライアンス推進委員会の開催、再発防止策の検討・実施） ・研究倫理研修会において、令和4年度に森林総合研究所で発生した研究倫理上の不適正事案について改めて周知した。 3. コンプライアンス意識調査の実施 ・回答率の維持に努めるとともに、回答の集計・分析後、結果を役職員に周知し、それを活かした対応を促した。また、自由記載については、個々の内容に応じ個別に対応した。 4. ハラスメントの未然防止	1. コンプライアンス意識の浸透 （1）教育・研修の実施 （2）コンプライアンス推進月間における意識の浸透 2. コンプライアンス違反と思われる事項の相談、通報、事例の周知 （1）コンプライアンス違反事案の相談等 （2）通報等窓口の周知継続 （3）事例の周知 3. コンプライアンス意識調査の実施 役職員を対象にコンプライアンス意識調査を実施し、これまでの取組を通じた浸透度、成果、対象項目や職員等による意識差等、職員のコンプライアンス意識を明らかにし、今後の取組の検討に活用する。 4. ハラスメントの未然防止

	・毎月一日、サイボウズに各種通報・相談窓口や公益通報処理規程などの説明を掲載 ・コンプライアンス・ハンドブックを活用し、コンプライアンス意識の向上を図った。 ・ハラスメント研修及び理解度テストの実施 【公益通報 1件】	各職場内における打ち合わせ等を利用し、職員間の意思疎通を図り相談しやすい風通しの良い職場環境を作ること等、苦情相談窓口の周知及び相談に対する適切な対応を図り、ハラスメントの未然防止に努める。 なお、コンプライアンス推進委員会に「ハラスメントへの対応に関する規程」に基づく申し立てがあった場合は、適切に対応する。
森林整備センター	1. コンプライアンス研修等の実施 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス自己診断 ・コンプライアンス理解度テスト ・理事からのメッセージ発信 ・コンプライアンス標語の募集 ・各都市(Web含む)で開催されるセミナー等への参加 2. 職場内ディスカッション ・コンプライアンス・ハンドブック、ニュースレター、危険予知確認表を活用して職場内で意見交換 3. 風通しの良い職場づくり ・職場内のコミュニケーションスキル向上、ハラスメント防止等 ・公益通報受付窓口(内・外部)等の周知 4. 職場毎の取組計画 ・毎月取組目標を立て、四半期毎に結果を取りまとめ情報共有する 5. その他の取組(地域社会との良好な関係)	1. コンプライアンス研修等の実施 (1) 外部講師等によるコンプライアンス研修の実施 (2) コンプライアンスの浸透・定着状況を把握するための自己診断の実施 (3) コンプライアンス意識向上のためのコンプライアンス研修等の実施 (4) 各都市(Web含む)で開催のコンプライアンスに関するセミナー等への積極的参加 2. 職場内ディスカッション (1) コンプライアンス・ハンドブックを用いて職場内学習を実施 (2) ニュースレターや新聞記事等のコンプライアンス違反事例をもとに意見交換を実施 (3) 危険予知確認表を参考にコンプライアンスに抵触する具体例について議論 3. 風通しの良い職場づくり (1) コミュニケーション機会の確保、ハラスメントのない職場環境 (2) 「公益通報受付窓口(内・外部)」「苦情相談窓口(内・外部)」の周知徹底 4. 職場毎の取組報告等 職場毎に上記1～3を目標としたうえで、その結果を四半期毎に報告・共有

	・各地域で開催されるイベントへの積極的参加 【公益通報 0件】	
森林保険センター	1. コンプライアンス意識の強化 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス自己診断の実施 ・コンプライアンス理解度テストの実施 ・コンプライアンス標語の掲示 2. コンプライアンス違反を未然に防ぐ風通しの良い組織づくり ・意見交換会の実施 ・危険予知活動実践表に基づく自己点検の実施 ・通報、相談窓口の周知 3. 社会貢献活動の取組 ・各種イベントへの参加 【公益通報 0件】	1. コンプライアンス意識の強化 (1) コンプライアンス研修の実施 (2) コンプライアンス行動規範に対する自己診断の実施 (3) コンプライアンス月間における意識の強化 2. コンプライアンス違反を未然に防ぐ風通しの良い組織づくり (1) 良好な職場環境づくり (2) コンプライアンス違反を未然に防ぐための取組 (3) 公益通報制度及び苦情相談窓口の周知 3. 社会貢献活動の取組 - 参加可能なイベント等には積極的に参加し、森林保険の情報を積極的に発信

○総 括

コンプライアンス活動への日々の取組に感謝申し上げます。今後取り組んでいく課題等についてコメントさせていただく。

【意識調査について】

意識調査については、回答率が実質的に100%となり精度の向上が図られた。この調査は極めて重要であり今後も維持していただきたい。自由記述への提案については可能な限り見える形で反応を示していただきたい。自由記述は一つのコミュニケーションの場となっているので大切にしていきたい。

【ハラスメント対応】

課題としてはハラスメント対応である。数字として改善の兆しが見えない。無意識のうちにハラスメントをしている可能性のある方への気づきが図られるよう、更なる工夫をお願いしたい。

【通報窓口の周知】

通報窓口の周知については、意識調査の結果からある程度進んでいることは評価しているが、利用するハードルはまだ高いという印象がある。ハラスメントをしている可能性のある方への気づきとハラスメントを受けている可能性のある方からの発信、この両立が必要と考える。各活動において諦めることなく継続した活動をお願いしたい。

令和6年度 研究ディレクター・研究コーディネーターの業務分担

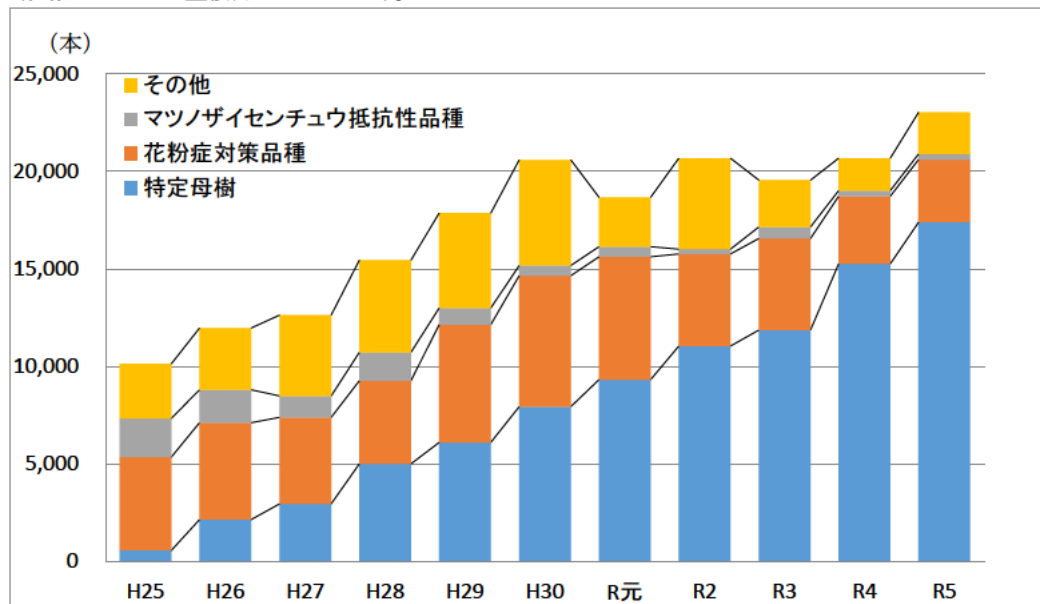
		氏名	担当戦略課題等	特命事項
研究ディレクター	気候変動研究	平井 敬三	(1)ア 気候変動影響の緩和及び適応に向けた研究開発	図書 人材育成
	生物多様性・生物機能	佐藤 保	(1)イ 森林生物の多様性と機能解明に基づく持続可能性に資する研究開発	林木育種との連携 データ基盤整備 花粉発生源対策
	国土保全・水資源研究	玉井 幸治	(1)ウ 森林保全と防災・減災に向けた研究開発	森林保険との連携 環境報告書・環境委員会
	林業生産技術研究	細田和男	(2)ア 林産物の安定供給と多様な森林空間利用の促進に資する研究開発	ダイバーシティ推進 研究倫理(副担当)
	生物被害・きのこ研究	服部 力	(2)イ 生物特性を活用した防除技術ときのこ等微生物利用技術の開発	研究報告編集 遺伝子組換え安全 動物実験
	木質資源利用研究	渋谷 龍也	(2)ウ 木材利用技術の高度化と需要拡大に向けた研究開発	研究倫理(主担当) 共同利用施設・機械運営
	木質バイオマス利用研究	久保 智史	(2)エ 木質新素材と木質バイオマスエネルギーの社会実装拡大に向けた研究開発	知財戦略(副担当) 化学物質等安全管理
研究コーディネーター	国際連携推進	平井 敬三	国際的な協調・連携が必要な研究課題の効率的な推進	IUFROとの連携
	産学官民連携推進	片岡 厚	産学官及び民との連携機能及び協力体制の強化	総括 知財戦略(主担当) 広報
	地域イノベーション推進 兼 関東中部地域	宇都木玄	地域課題の抽出、研究開発による課題解決、研究成果の地域への普及	総括代理 森林整備との連携

令和5年度 原種苗木等の配布実績等について

1. 配布実績

樹 種	総 数 (本)	(左記の内数)	
		特定母樹	花粉症対策品種
スギ	12,850	10,267	2,428
ヒノキ	7,969	5,984	1,807
カラマツ	1,424	1,102	-
グイマツ	205	40	-
アカマツ	118	-	-
クロマツ	171	-	-
トドマツ	292	-	-
合 計	23,029	17,393	4,235

注) スギについては、特定母樹と花粉症対策品種の両方に該当するもの1,022本が、それぞれの本数に含まれる(総数においては重複計上していない)。



原種苗木等の配布本数の経年変化

注) 原種苗木等とはつぎ木苗木、さし木苗木、穂木である。
特定母樹と花粉症対策品種の両方に該当するもの(平成26～令和5年度のスギ)については特定母樹に含めている。

2. その他

- (1) 令和5年度の原種苗木等の配布実績は23,029本(前年度比111%)となった。特に、特定母樹は17,393本(前年度比114%)と、全体の8割を占めるまでになり、過去最多の配布実績となった。
(参考: 令和4年度の配布実績は、それぞれ20,674本、15,263本)
- (2) 当センターが開発した優良品種等の原種苗木等の普及を図るため、都道府県や民間の認定特定増殖事業者等に対し、採種穂園の造成・改良等に係る技術指導を実施。

令和5年度 森林保険センターの業務実績について

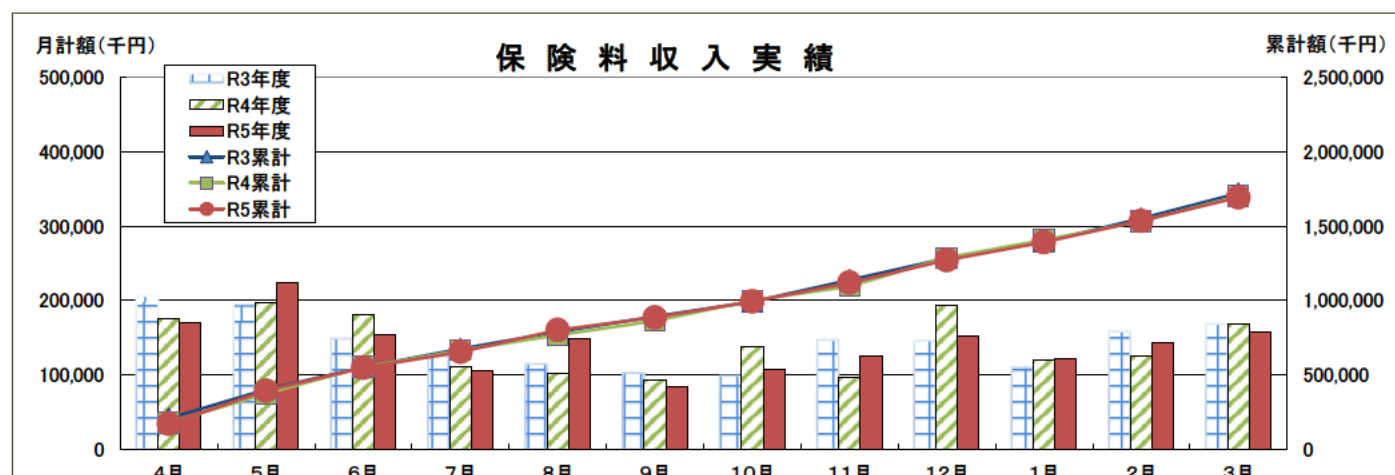
1 保険加入率(※1)(令和5年度末):6.7%(前年度比0.3ポイント減)

2 保険料収入等

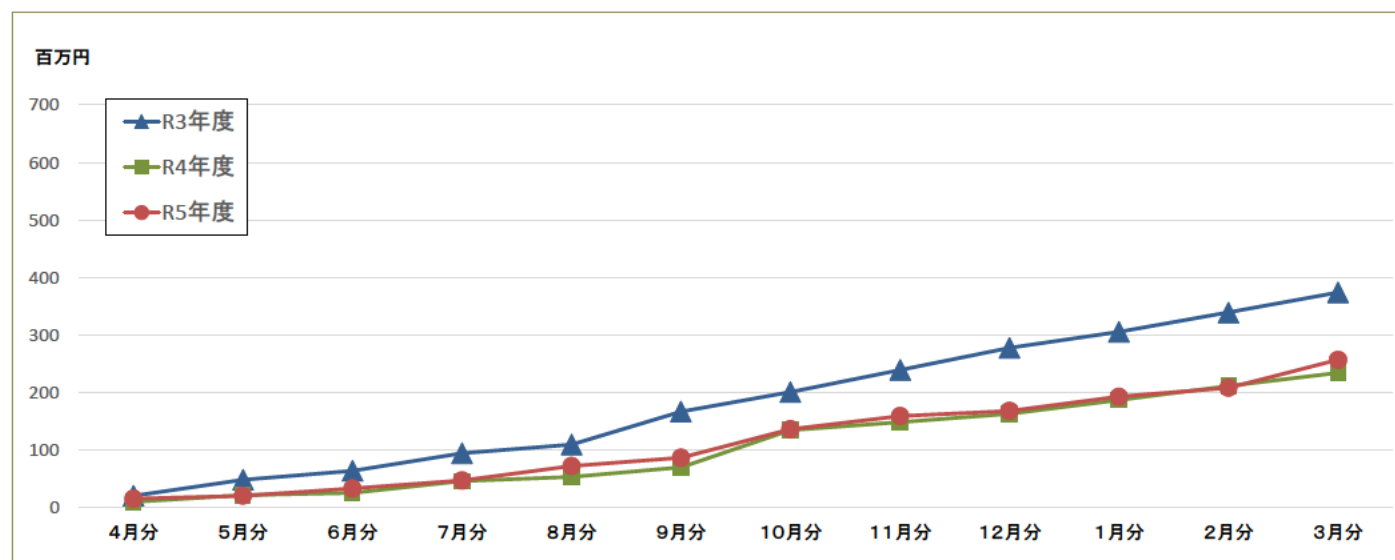
(1) 保険料収入:16億9千4百万円(8百万円減、対前年度比100%)

(2) 森林保険加入面積:52万6千ha(2万ha減、対前年度比96%)

(3) 責任保険金額(※2):6,005億円(164億円減、対前年度比97%)



3 保険金支払:2億5千7百万円(2千3百万円増、対前年度比110%)



(※1) 保険加入率: 民有林人工林面積に対する森林保険加入面積の割合。

(※2) 責任保険金額: 損害が填補される最大の支払額。

Ⅱ－１

令和 6 年 5 月理事会資料
 国立研究開発法人
 森林研究・整備機構

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
5月11日～ 12日	○	○	○	第33回みどりの感謝祭 みどりとふれあうフェスティバル	高尾599ミュージアム（東京都八王子市）（主催：林野庁ほか、ブース出展：森林研究・整備機構）
5月14日 ～17日	○			令和 6 年度九州地区林業試験研究機関連絡協議会研究担当者会議（保護、育林・経営、育種、特産部会）	九州支所 （主催：九州地区林業試験研究機関連絡協議会）
5月15日		○		全国水源林造林協議会連合会 総会	ルポール麹町（東京都千代田区） （主催：全国水源林造林協議会連合会、出席：森林整備センター）
5月21日 ～22日	○			令和 6 年度九州地区林業試験研究機関連絡協議会研究担当者会議（木材加工部会）	佐賀県林業試験場 （主催：九州地区林業試験研究機関連絡協議会）
5月28日	○	○	○	令和 6 年度機構会議	森林総合研究所 （主催：森林研究・整備機構）
6月3日	○			令和 6 年度四国地区林業技術開発会議	高知会館（高知県高知市） （主催：四国支所）

主要行事（令和6年4月5日～令和6年5月9日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
4月5日(金)	【共】第1回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
9日(火) ～11日(木)	【共】新規採用者研修	理事長、各理事
16日(火)	【研】森林部門技術士会第54回通常総会	研究担当理事
19日(金)	【研】春の森林講座	
23日(火)	【共】第43回ダイバーシティ推進セミナー	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、育種事業・森林バイオ担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事
5月7日(火)	庁議	企画・総務・森林保険担当理事

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事 の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	きのこ原木の放射性セシウム濃度が調査区内でどのようにばらつくのかを解明 ー放射性セシウム濃度の予測に重要な基盤情報ー	シノミヤ ヨシキ 篠宮佳樹 震災復興・放射性物質研究拠点	PLOS ONE誌	2023/12	プレスリリース
2	四万十川森林流域では日照時間が長い年ほど溪流水の溶存成分濃度が増加する	イガキ ヨシユキ 稲垣善之 四国支所	Ecological Research	2024/01	
3	シカは餌植物からナトリウムを十分に得られず、特に雌シカで強く欠乏する	モリ タイキ 森大喜 九州支所	Animals	2023/03	
4	大気中の窒素酸化物などの濃度が高いと、落葉広葉樹と常緑針葉樹から林床への供給量に差が生じる	イマムラ ナオヒロ 今村直広 北海道支所	Environmental Monitoring and Assessment	2024/01	
5	「日本一のシラカンバ美林」の更新維持、小規模伐採では難しく	サイイ アツシ 酒井敦 東北支所	東北森林科学会誌	2024/02	

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	科学技術週間をもっと楽しもう！SCIENCE & TECHNOLOGY PRE EVENT 2024	森林総合研究所 企画部広報普及科	つくばまちなかデザイン	つくばセンター広場 (つくば駅周辺)	4月14日(日) 10:00～15:00	
2	科学技術週間 森林総合研究所 一般公開「春の森林講座」	森林総合研究所 企画部広報普及科	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所	森林総合研究所 (つくば市)	4月19日(金) 9:30～11:45 13:30～15:45	事前予約制